

令和5(2023)年度日本歴史研究コース授業計画

授業名	技術史・環境史-古代技術史-			
担当教員	中村耕作・准教授			
授業概要	過去の世界では、現代の我々のいう技術(=科学的技術)とともに観念的な技術が一体となって生活を支えていた。本授業では、考古学的にその位置づけを図るための方法を議論する。			
教育目標・目的	対象とする考古学的文化・社会における観念技術の位置付けについての理論・方法論の特徴や課題を理解し、自身の研究目的に沿った方法論を議論できるようになることを目的とする。			
成績評価	発表およびその内容をまとめたレポート。理論的背景・研究史の理解、現代的な位置づけ、模範的研究例、課題などについてまとめる。			
授業計画	1. 授業の進行について	9. 受講生による事例検討：遺構①		
	2. 教員によるケーススタディ：縄文土器と顔身体装飾	10. 受講生による事例検討：遺構②		
	3. 教員によるケーススタディ：竪穴建物と廃屋葬	11. 受講生による事例検討：遺構③		
	4. 教員によるケーススタディ：堅果類とクッキー状炭化物	12. 受講生による事例検討：遺跡①		
	5. 受講生による事例検討：遺物①	13. 受講生による事例検討：遺跡②		
	6. 受講生による事例検討：遺物②	14. 受講生による事例検討：遺跡③		
	7. 受講生による事例検討：遺物③	15. 総括		
	8. 受講生による事例検討：遺物④			
実施場所	総合研究棟第3研修室	使用言語	日本語 Japanese	
前期・後期の別	後期	対象年次	3, 4, 5	単位数 2
教科書・参考図書	授業内で適宜指示する			
備考				